

# 知的財産を活用した企業経営とは

日時／平成23年10月21日(金) 13:00～15:45

場所／滋賀県立長浜ドーム セミナー室① (JR田村駅より徒歩約7分・びわ湖環境ビジネスメッセ会場)  
滋賀県長浜市田村町 1320 TEL 0749-64-0808

世界シェア  
40%



## 環境保全と知的財産マネジメント 13:00～14:10

湖北工業株式会社 取締役 森川 茂 氏

当社は、1959年の創業以来あらゆるエレクトロニクス製品に欠かせないアルミ電解コンデンサ用リード線端子の製造・販売で世界トップシェアを誇っています。

また2000年から主力事業で培った精密加工技術、独自の材料成型技術と高精度な光制御技術を基に、光ファイバ通信用部品の開発・販売を展開、滋賀の本社工場は、技術開発とコントロールセンター、中国蘇州、マレーシアでは高度なスキルを備えたマスタックポイントとして機能させ、米国、シンガポール、東京の各ブランドは当社のグローバルネットワークを支えています。

当社製品の主用途は、エネルギー、光通信、ナノの分野で、製品に至るまでには、化成処理等、環境保全への配慮や独自技術を支える知的財産権の確立も避けて通れません。

本講演では、環境保全ならびに知的財産の活用を中心に当社のご紹介を致します。

独創技術で  
未来へ



## 10年先を見つめた事業経営 14:10～15:10

～透明ケース開発に賭けた10年と今後の展開～

株式会社 開伸 代表取締役 橋本 忠 氏

当社は、プラスチックシート(A-PET,PP)に印刷加工等を施し「透明ケース」を専門に製造販売する企業として創立し、今日10年の社歴を刻みました。「透明ケース」とは、商品の外箱として中身が透視できる安心感のあるケースで雑貨、お酒、医薬品、化粧品、洋菓子等その他広くご利用頂いております。これまでの10年間で2億個を超える「透明ケース」を製造販売し、業界一の品質、多品種、少ロット対応、短納期をセールスポイントに事業を成長させてきました。今後は、より独創的な生産体制を目指し合理的な工場と共に今後10年先を見越した新技術、新商品、独創的な加工機の開発を進めて参ります。

今回は、「透明ケース」の一番重要な部分である“折り曲げ罫線構造技術”の開発に関する事例と、弊社のような30～40名規模の企業が大企業に対抗する時に必要とする知財戦略の重要性について、創業から今日までの事例を交えて紹介致します。

企業経営者なら思う事は、皆同じです。他社にない商品を効率的に開発し、知的財産権で守られた商品を適正価格で事業できる企業経営…。これを夢見ながら当社は、これからも世の中のニーズを先取りし、理想の「透明ケース」を目指し、邁進いたします。

# シーズ紹介

～特許技術を活用した新たな事業展開を目指して～

## ・PETボトルのリサイクル

滋賀近交運輸倉庫株式会社 顧問 **井上 源之助 氏**

PETボトルのリサイクル、リユースを通じた資源の有効活用と循環型社会システムの構築を目指します。

## ・コギングトルクを少なくした発電機

E. エナジー 代表 **平松 敬司 氏**

永久磁石を円盤に並べて相対させ、磁石の位置を軸から見て均等な角度でずらすことで、磁石が引き合う力を相殺させ発電機を回す時に生じる磁石の抵抗を大幅に軽減できます。この技術は、電気自動車や風力発電など広範囲の応用が可能です。

TBS「夢の扉+」  
平成23年9月18日(日)  
18:30～放映

定員 70名（先着順）

参加料 無料

申込 参加ご希望の方は、10月17日(月)までにファクシミリまたは電子メールで必要事項を記載のうえお申し込み下さい。受講票等は発行いたしませんので、当日会場の受付へお越しください。

協力 近畿知財戦略本部



主催および申込先

滋賀県知的所有権センター

〒520-3004 滋賀県栗東市上砥山232

滋賀県工業技術総合センター別館 一般社団法人滋賀県発明協会内

TEL 077-558-0930 FAX 077-558-3887 E-mail info@jiii-shiga.jp

FAX 077-558-3887

知財活用セミナー 参加申込書 10/21

〒

所在地

事業所名

部課名

氏名

TEL

FAX